

令和3（2021）年度

地域学校協働活動推進員養成研修③ 実施報告

実施日：令和3年8月31日（火）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Zoomを活用したオンラインでの研修実施となりました。

講話「子どもを取り巻く現代的課題」
宇都宮大学共同教育学部
教授 長谷川 万由美 氏



前半は、子どもを取り巻く課題はどのように変わってきているのか、今はどのようなになっているのか、多くの調査データをもとにして、子どもと社会の変化についてお話いただきました。



後半は、子どもの貧困と教員の意識やコロナ禍での新しい支援等についてお話いただきました。

受講者は、地域学校協働活動に携わるために必要な知識として、子どもの現状や課題について理解することができたようです。

講話「地域づくりにつながる活動」
宇都宮共和大学シティライフ学部
特任教授 陣内 雄次 氏



前半は、まちづくりで大切にしたいことやまちづくりにつながる活動の意義と意味について、自らの考えや学校と地域の連携・協働に向けて、押さえるべきポイントをお話いただきました。



後半は、事例などを交えながら、受講者の活動のヒントにつながるような話題の提供がありました。また、短い時間ではありましたが、「まちづくりにつながる活動」私のアクションプランとして個人演習も行いました。

活動への意欲喚起にもつながる内容で、実践につながる学びとなりました。

【受講者の感想から】

- 刻々と変化している子どもの環境の現状に気づき、ハッとしました。そこから何が読み取れるのか、分析することなどいろいろな視点や考察の仕方を学びました。
- 子どもを取り巻く課題について、コロナも含めて知ることができました。20年前と比べてよい面もありましたが、まだまだ課題があることを再認識しました。
- 自分の地域について思うことは、地域の事を知り、課題を発見することがまだ何もできていないと感じました。まちづくりは、子どもと大人が一体になった活動でなければと、特に感じました。
- 陣内先生の事例が大変参考になりました。行政の立場で学校や地域にどんなアプローチができるか考えるきっかけになりました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp